

# システム英単語・連想記憶術 1582～1685

## 形容詞 副詞

□□ 1582

**apt** 「給料アップとは、なんと適切な措置」「小遣いアップと主張しがちな子供」  
[4][æpt アプト]

□□ 1583

**humble** 「ノーブル(noble)は気高く、半ブル(humble)は謙虚な」  
[4][hʌmbəl ハンブル]

□□ 1584

**entitled** 「エンタイトル2ベースは2塁へ進む権利がある」

[5][ɪntaɪtld インタイトルド]

説「権利を与える」の意味の他動詞 entitle 派生の過去分詞形容詞。

幹「en=動詞化(形容詞・名詞の動詞化)」

「en=動詞化」+「large=大きい」= enlarge

→大きくする

「en=動詞化」+「rich=豊富な」= enrich

→豊かにする・濃厚にする

「em=en=動詞化」+「bar=棒」= embarrass

→棒を置く=妨げる・困らせる

「em=en=動詞化」+「body=体」= embody

→身体を与える=具体化する

□□ 1585

**valid** 「場(を)リードするのは正当な意見」  
[6][vælɪd バリド]

□□ 1586

**faint** 「フェイント攻撃のかすかな兆候」

[4][feɪnt フェイント]

説 バレーボールで、強打すると見せかけて弱くちょこんと打ち返すこと。この faint は「力が弱い」ことだけど、他にも「音が小さい」、「望みが薄い」、「色が淡い」、「意識がなくなる」などの意味がある。

□□ 1587

**stiff** 「硬直したスタッフ(a stiff staff)」

[3][stɪf スティフ]

説似た単語と一緒に覚えよう。

□□ 1588

**obscure** 「お(ん)ぶ好きや、だっこ好きや、とはっきりしない子供」

[6][əbskjʊər オブスキュア]

**point**

はっきりしない

obscure:見えにくいのではっきりしないこと  
vague:精密さ、精確さが無いためにはっきりしないこと  
ambiguous:いろいろと解釈できるのではっきりしないこと  
equivocal:意図的にぼかされていてはっきりしないこと

□□ 1589

**fierce** 「冷や汗かくほど激しい競争」

[5][fɪərs フィアス]

□□ 1590

**acute** 「あっ! キュートな娘、と鋭い指摘」

[5][əkjʊ:t アク्यूト]

□□ 1591

**idle** 「怠け者の(idle)アイドル(idol)」

[4][aɪdl アイドル]

説似た単語と一緒に覚えよう。車のアイドリング(idling, run idle)は停車中にエンジンを空回しすること。

□□ 1592

**crude** 「狂うドイツの粗野な指導者」

[7][drʊ:d クルド]

□□ 1593

**jealous** 「じらすくせに嫉妬ぶかい女」

[3][dʒələs ジェラス]

□□ 1594

**pregnant** 「連れがなんと妊娠!」

[6][prɛgnənt プレグナント]

□□ 1595

**liable** 「冷凍フライあぶるだけの手を抜きがちな彼女」

[7][laɪəbl ライアブル]

□□ 1596

**intent** 「院展取る決意をしている」「今は院展とることに没頭している」

[4][ɪntɛnt インテント]

□□ 1597

**decent** 「うちのジイさんとてってもまともな格好」

[6][di:snt デースント] **発音**

□□ 1598  
**marvelous** 「まあ、(ラス)ベガスは驚くべき賭博場」  
[4][má:rvələs マーベラス]

□□ 1599  
**misleading** 「ミス! 理事が誤解を招く、紛らわしい指示」  
[8][misli:diŋ ミスリード]

□□ 1600  
**tame** 「てめえ~!と怒鳴って従わせる」「てめえは会社に飼い慣らされたのか!」  
[4][téim テイム]

□□ 1601  
**classical** 「クラシック音楽は classical music」  
[4][klæsikl クラシカル]

□□ 1602  
Muslim 「ゴジラやモスラもイスラム教徒」  
[6][mʌzləm マズラム]

□□ 1603  
**grave** 「墓のお供えはグレイブ・フルーツ」  
[3][gréiv グレイブ]

□□ 1604  
**fertile** 「よく土地の肥えた畑要る」「ふわっと累積する肥沃な土」  
[5][fé:rtəl ファータル]

□□ 1605  
**hostile** 「ほー、スタイル悪いねと敵意のある発言」  
[6][hóstəl ハスタル]  
尾 「-ile=傾向がある・しやすい」  
「hostis=敵」+「-ile=傾向がある」= hostile  
→敵対する傾向がある=敵意に満ちた・対立する  
「ferre=実」+「-ile=しやすい」= fertile  
→実を結びやすい=肥沃な・多産な  
「juvenis=若」+「-ile=傾向がある」= juvenile  
→比較的若い=青少年の・少年少女向きの

□□ 1606  
**indispensable** 「調査員、出すペンしゃぶるのが不可欠だ」  
[7][indispénsəbl インディスペンサブル]  
頭 「in=否」  
「in=否」+「different=違う」= indifferent  
→違いはない・どちらでも同じ=無関心な・無頓着な  
「in=否」+「comparable=比較できる」= incomparable  
→比較できない=比類ない  
「in=否」+「accessible=近づける」= inaccessible  
→近づけない=手の届かない・よそよそしい・行けない  
「in=否」+「adequate=適当な」= inadequate  
→適当じゃない=不適切な  
「in=否」+「consistent=一貫した」= inconsistent  
→首尾一貫していない=矛盾した  
「in=否」+「dispensable=なくても済む」= indispensable  
→なくては済まない=不可欠の  
「in=否」+「equality=平等」= inequality  
→平等でないこと=不平等  
「in=否」+「valuable=評価できる」= invaluable  
→評価できないくらいのは=非常に貴重な  
\* valuable を「価値がある」とすると「in=否」で「価値のない」となっておかしくなるので注意すべし。

□□ 1607  
**alert** 「あらっ、という間のすばやいスリに用心する」  
[5][əlɜ:rt アラート]

□□ 1608  
**trivial** 「トリビアの泉はささいな事を問題にする」  
[6][trívíəl トリビアル]

□□ 1609  
**oriented** 「古代オリエントで学歴志向の社会(an academic-oriented society)」  
[15][ó:rientid オーリエンティド]

□□ 1610  
**splendid** 「スープ(を)レンジでチンするとすばらしい味!」  
[4][spléndid スプレンドイド]

□□ 1611  
**competent** 「カンペ(カンニング・ペーパー)担当は優秀なやつ」  
[6][kâmpətənt カンペタント] **アク**

**point** 有能な { capable:特定の仕事に対する訓練された有能さ  
competent:要求される能力が備わっているさま  
efficient:凄腕、敏腕

□□ 1612  
**supreme** 「シュークリーム！最高のデザート」  
[5][sʃʊpɹi:m シュプリーム]

□□ 1613  
**sheer** 「試合は全くの互角」「赤い水星のシャーとは全くの互角」「本当の(sheer)共有(share)」  
[6][ʃiə シャー]  
説 share は[ʃeə シェア]、sheer は[ʃiə シャー]。「**シェア**・ハウスと赤い彗星の**シャー**」

□□ 1614  
**sacred** 「聖クレドは神聖な人」「聖句」  
[5][sɛikrɪd セイクリド]

□□ 1615  
**bold** 「ボールで大胆な牽制球」  
[3][bɔʊld ボウルト]

□□ 1616  
**uneasy** 「豪邸を兄維持できるな不安な気持ち」  
[6][ʌni:zi アニージ]  
説 「un=not」 + 「easy=安心」 → 「uneasy=不安な」  
説 easy の意味の広がりには、「簡単な」問題が出ると、「気楽な」気持ちで解くことができる。当然、間違えるはずもないので、解いた後は「安心な」「落ち着いた」な気分です。  
**point** 逆接の接頭語 { un- [easy - **uneasy**]  
mis- [understand - **misunderstand**]  
in(m)- [possible - **impossible**]  
dis- [appear - **disappear**]  
non- [fiction - **nonfiction**]

□□ 1617  
**neat** 「ニート(NEET)のくせにきちんとした(neat)服」  
[2][ni:t ニート]  
説 ニート(Not in Education, Employment or Training)は英国政府が労働政策上の分類として定義した言葉だったが、英国ではほとんど使われることがなく、日本でかなり流行したので英国の記者が日本の騒ぎでこの言葉を知ったという。

□□ 1618  
**shallow** 「去ろう、配慮の浅い上司のもとを」  
[4][ʃæləu シャロウ]

□□ 1619  
**loyal** 「ロイヤル・ホストは誠実で忠実なファミレス」  
[3][lɔɪəl ロイアル]  
説 実際には「ROYAL HOST」なのですが・・・。

□□ 1620  
**superficial** 「宣伝をスーパ、必死(に)やるけど、表面的な効果」  
[8][sʃu:pərʃiəl スーパーフィシャル]

□□ 1621  
**absurd** 「アホさ、度を過ぎ馬鹿げた質問するメーテレのアナウンサ」  
[5][əbsɜ:rd アブサード]  
説 福留がシカゴ・カブスに入団が決まり、シカゴの街の連中にその福留について感想を求めた質問がこれ！「How do you think Fukudome?」本当にメーテレのアナウンサはバカです。特に「どですか！」のアナウンサは最悪。メーテレにちゃんと英語できるやつはいないの？名古屋人としてもものすごく恥ずかしい！

□□ 1622  
**fragile** 「ブラジルのキーパー、マルコスは壊れやすい」  
[8][frædʒəl フラジル]

□□ 1623  
**respectable** → **respect** 「列(記)すべき尊敬すべき 点」  
[5][rɪspɛktəbl リスペクタブル]  
幹 「respect=尊敬する・点」  
「respect=尊敬する」 + 「able=できる」 = respectable  
→ 尊敬することのできる = ちゃんとした・立派な  
「respect=尊敬する」 + 「ful=いっぱい」 = respectful  
→ 尊敬の念がいっぱい = 礼儀正しい・丁寧な  
「respect=点」 + 「-ive=形容詞語尾」 = respective  
→ この点、あの点 = それぞれの・個別の

□□ 1624  
**magnificent** 「世界中の爺さんが、孫に1セント渡す壮大な計画」  
[5][mægnɪfɪsnt マグニフィセント]  
幹 「fic[i]ent = する」  
「magni = great」 + 「ficent = する」 = magnificent  
→ グレードにする = 壮大な、堂々とした  
「de = 離」 + 「ficient = する」 = deficient  
→ やれない = 不十分な  
「suf = sub = 下」 + 「ficient = する」 = sufficient  
→ やれる = 十分な  
「pro = 前」 + 「ficient = やる」 = proficinet  
→ 人前でやる = 熟練した  
「ef = ex = 外」 + 「ficient = やる」 = efficient  
→ 結果を外にもたらず = 効果のある

□□ 1625  
**infinite** 「何が原因？不意に突然無限の力」

[6][ɪnfənaɪt ɪンフイニット] **アク**

【説】「finit=有限、限界」

「in=否」 + 「finite=限界」 = infinite  
→限界がない=無限の

「de=強↓」 + 「finite=限界」 = definite  
→限界を定める→ハッキリと限定された・明確な・確かな

□□ 1626

**comprehensive** → **comprehend** 「混むふり変だ！と痴漢の手口を包括して理解する」

[6][kəmprɪhɛnsɪv カンプリヘンシブ]

【説】「comprehend=包括する」 + 「-ive=形容詞語尾」 = comprehensive  
→包括的な

□□ 1627

**steep** 「急な坂を上るスティーブン・スピルバーグ」

[4][sti:p スティープ]

□□ 1628

**gross** 「日本の国内総生産(the gross national product)を愚弄する韓国」「gross (全体の) gloss (輝き)」

[4][grɔ:ʊs グロウス]

□□ 1629

**subsequent** 「それに続く場面で、マリは寂しくワンと鳴く」

[7][sʌbsɪkwənt サブシクワント]

【説】「sequent = 連続」

「sub=下」 + 「sequent=連続」 = subsequent  
→下に続く=その後の

「con=共」 + 「sequent=連続」 = consequent  
→努力に伴って続いてくるもの=結果

□□ 1630

**sincer** 「あいつは誠実な紳士や」

[3][sɪnsɪər シンシア] **アク**

□□ 1631

**timid** 「血みどろの殺人現場に臆病な警官」

[6][tɪmɪd デイミド]

□□ 1632

**neutral** 「車のギアでニュートラルはどこにも入っていない中間の位置」

[5][nju:trəl ニュートラル]

□□ 1633

**diligent** 「日本では自利出ん！と海外移転する勤勉な経営者」

[5][dɪlɪdʒənt デイリジエント]

【説】「自利」とは「自分の利益」。日本は法人税や人件費が高くてやってられないので、海外移転が加速した。

□□ 1634

**sore** 「入試会場で、隣の女子にソワソワする痛い男子校」

[3][sɔ:r ソア]

【説】ウソのようで本当の話なのだけど、試験会場で隣にいた女の子の香水に当てられて頭が真っ白になってしまい、A判定で不合格になった子がいます。こちら辺が男子校の悲しいところですね。

□□ 1635

**contaminated** 「どこにもゴン太、見ない程度に汚染された福島」

[8][kəntæmɪneɪtɪd カンタミネイテド]

【説】福島町の汚染はひどくて、どこにも犬(ゴン太)の姿を見かけない。

□□ 1636

**ambiguous** 「気遣う安否、急(に)明日はどちらともとれる返事」

[8][æmbɪɡjuəs アンビギュアス]

**point**

はっきりしない

{  
obscure:見えにくいのではっきりしないこと  
vague:精密さ、精確さが無いためにはっきりしないこと  
ambiguous:いろいろと解釈できるのではっきりしないこと  
equivocal:意図的にぼかされていてはっきりしないこと

□□ 1637

**oral** 「オーラルの授業とは Oral Communication のことで、口頭で自分の意思を相手に伝える練習」

「オラ留守だよ、と口頭の伝言」

[5][ɔ:rəl オーラル]

□□ 1638

**restless** 「落ち着かなくて、心休まる(rest)暇もない(less)状態」

[6][rɛstlɪs レストリス]

【説】「-less=無」

「rest=安心」 + 「less=無」 = restless  
→安心できない=不安な

「stain=汚れ」 + 「less=無」 = stainless  
→汚れがつかない=ステンレス

「reck=気にかける」 + 「less=無」 = reckless  
→全く気にしない=無謀な、無鉄砲な

「price=値段」 + 「less=無」 = priceless  
→値段なんかつけられない=きわめて重要な

□□ 1639  
**savage** 「さあ、美人を求めて未開の地へ」  
[6][sævidʒ サビジ]

□□ 1640  
**vigorous** → **vigor** 「美が僕の活力」  
[5][vɪgərəs ヴィガラス]

□□ 1641  
**immense** 「君のいい面、すごく大きい」  
[4][imɛns イメンス]  
大きい { huge: 大きさ・量・程度などが大きい意味のもっとも一般的な語  
enormous: (huge よりもかたい表現) 広さが並はずれて大きい様  
immense: 広さが計ることのできないくらい大きい様  
vast: 広さと量が大きいこと  
tremendous: バカでかいこと

□□ 1642  
**metropolitan** 「メットライフ・アリコとは metropolitan life アリコのこと」  
[7][metrəpɒlɪtən メトラパリタン]  
説 言語には省略表現がつきものだが、日本人はちょっとやり過ぎの嫌いがある。アフガニスタンを「アフガン」、インフルエンザを「インフル」ってワケが分からない。この「メットライフ」って言うのも一見ただけでは意味不明。最初聞いたときには、ヘルメットでも被って生活している人のことかと思った。実際に Metropolitan Life という名前の保険会社があって、それを簡略化したらしい。これには決して「都会生活」の意味はない。言いたければ city life になる。

□□ 1643  
**punctual** 「パンク中ある焦り、時間に正確な人」  
[5][pʌŋktʃuəl パンクチュアル]

□□ 1644  
**solitary** 「総理たりとも孤独なもんさ!」  
[6][sɒlɪteri サリテリ]  
幹 「sol = 1、1つ、1人」  
「sol = 1」 + 「tary = 形容詞語尾」 = solitary  
→ 1人の = 孤独な  
「con = 共」 + 「sole = 1人」 = console  
→ 1人身の淋しさを共にする = 慰める

□□ 1645  
**collective** 「いっぱい(-tive)集まった(collect)集合体」  
[6][kəlektɪv カレクティヴ]  
尾 「-tive = いっぱい」  
「collect = 集」 + 「-tive = いっぱい」 = collective  
→ いっぱい集まる = 集団的な、集合的な; 集合体  
「imagine = 想像」 + 「-tive = いっぱい」 = imaginative  
→ いっぱい想像する = 想像力のある  
「talk = 話」 + 「-tive = いっぱい」 = talkative  
→ いっぱい話す = おしゃべりな

□□ 1646  
**diplomatic** 「実父、ローマ地区の外交の担当」  
[5][dɪpləmətɪk デイブラマティック]  
幹 「di = 2つ」  
「di = 2つ」 + 「ploma = 折る」 = diploma  
→ 2つに折った紙 = 公文書、免許状、学位証明書  
「diploma = 公文書」 + 「-tic = 形容詞語尾」 = diplomatic  
→ 公文書の、外交の  
「diploma = 公文書」 + 「cy = 名詞語尾」 = diplomacy  
→ 外交、外向的手腕  
「diploma = 公文書」 + 「ist = 人」 = diplomatist = diplomat(簡略形)  
→ 外交をする人 = 外交官

□□ 1647  
**brutal** 「残忍な(brutal)野獣(brute)」  
[5][brú:tɪl ブルートル]  
説 ポパイの天敵、ブルート。まさに野獣のような大男でした。ポパイはほうれん草を食べると強くなって、ブルーとをコテンパンにやっつけるのを見て、自分でも食べてはみるのですが、全く変化がなくてガッカリした覚えがあります。

□□ 1648  
**helpless** 「助力(help)がない(less)のは頼りない」  
[3][hélplɪs ヘルプリス]  
尾 「-less = 無」  
「help = 助力」 + 「-less = 無」 = helpless  
→ 助けがない = 無力な・寄る辺ない  
「price = 値段」 + 「-less = 無」 = priceless  
→ 値段がつけられない = 極めて貴重な  
「sense = 感覚」 + 「-less = 無」 = senseless  
→ 意義が感じられない = 意味のない  
→ 感覚がない = 意識を失った  
「rest = 安心」 + 「-less = 無」 = restless  
→ 安心できない = 不安な・落ち着かない  
「regard = 関心」 + 「-less = 無」 = regardless of ~  
→ ~に関心がない = ~を無視して・~にもかかわらず

□□ 1649  
**arrogant** 「あら？眼とばす傲慢な態度」  
[7][ˈærəɡənt アラガント]

□□ 1650  
**bankrupt** 「銀行(bank)が rupture(破裂)するのが破産」  
[6][ˈbæŋkrʌpt バンクラプト]  
幹「rupt=破」  
「bank=銀行」 + 「rupt=破裂」 = bankrupt  
→銀行が破れる→破産・倒産  
「rupt=破」 + 「ture=名詞・動詞語尾」 = rupture  
→破裂[させる]  
「ab=離」 + 「rupt=破」 =  
→本筋から突然離れること = 突然の、話にまとまりがない  
「e=ex=外」 + 「rupt=破」 = erupt  
→破裂して外に飛び出すこと = 噴火、噴出  
「inter=中」 + 「rupt=破」 = interrupt  
→真ん中に割って入る = 妨害する、中断する  
「co=完全」 + 「rupt=破裂」 = corrupt  
→完全に生活が破壊する→墮落した・腐敗した

□□ 1651  
**eternal** 「絵たあ、なるほど永遠のもの」  
[5][itəːrnəl イターナル]

□□ 1652  
**sole** 「ただ1つの(sole)我が魂(soul)のふるさと、ソウル(Seoul)」  
[5][səʊl ソウル]  
説似た単語は一緒に覚えよう！

□□ 1653  
**gloomy** 「グル！皆んな陰気な奴ら」  
[5][glʊːmi グルーミ]

□□ 1654  
**notable** 「脳食べる注目すべき種族」  
[7][nəʊtəbl ノウタブル]

□□ 1655  
**affluent** 「石油があふれんとする裕福な国」  
[9][ˈæfluənt アフルエント]  
幹「flu=flow=流」  
「a=af=方向」 + 「flu=流」 + 「ent=形容詞語尾」 = affluent  
→そっちの方へ豊かに流れる = 水量の多い、豊かな  
「e=ex=外」 + 「flu=流」 + 「ent=形容詞語尾」 = effluent  
→外に流れ出る = 流れ出る、流出する  
「in=中」 + 「flu=流」 + 「ent=形容詞語尾」 = influent  
→中に流れ込む = 流入する、流れ込む  
「in=中」 + 「flu=流」 + 「ence=名詞語尾」 = influence  
→外から流れ込んで来たもの = 影響、影響力  
「re=元」 + 「flu=流」 + 「ent=形容詞語尾」 = reflux  
→元来た方に流れる = 逆流する

□□ 1656  
**naked** 「ねえきつと今頃は裸の君」  
[3][keɪkɪd ネイキド]

□□ 1657  
**vocal** 「暴行されて発声できず」  
[6][vəʊkl ボウコ]  
説 バンドのボーカルは和製英語。正しくは vocalist。発音も、「ボーカル」じゃなくて「暴行」と聞こえる。

□□ 1658  
**feminine** 「フェミニーナ軟膏は女性の薬」  
[7][fəˈmɪnɪn フェミニン]  
反 masculine は「男性の」

□□ 1659  
**vacant** 「米艦、捕らえてみれば中は空っぽ」  
[6][veɪkənt ヴェイカント]  
**point**  
空っぽの { empty:単に中が空っぽ  
vacant:本来あるべき人やモノがそこがない様子。特に、具体的には家・部屋・座席・トイレなどに、抽象的には定員や地位に使う。

□□ 1660  
**exotic** 「エキゾチックな街とは異国情緒漂う魅力的な街」  
[8][ɪgzəˈtɪk イグザティク]

□□ 1661  
**cognitive** 「工具に一部、改良すべき点を認知する」  
[10][kágɲətiv カグナテイヴ]  
説 「cogni=知」  
「cogni=知」 + 「-tive=いっぱい」 = cognitive  
→知識がいっぱい=認識力のある、認知に関する  
「re=再」 + 「cogni=知」 + 「-ize=動詞語尾」 = recognize  
→繰り返し知る=そうだと認める

□□ 1662  
**humid** 「ひゅ〜！ミッド・ナイトでも高温多湿な名古屋の夏」  
[7][hjú:mid ヒューミッド]

□□ 1663  
**outstanding** 「会うとスタンディング（立ち上がって）で目立つ挨拶」  
[4][autstændiŋ アウトスタンディング]

□□ 1664  
**addicted** 「この味！食ってどうも中毒になる」  
[9][ədiktɪd アディクテド]

□□ 1665  
**vulnerable** 「ボール選ぼう！敬遠受けやすいイチロー」  
[8][vʌlnərəbl バルネラブル]

□□ 1666  
**spontaneous** 「スッポン手に汗！自然の発汗」  
[7][spantéiniəs スパンテイニラス]

□□ 1667  
**greedy** 「義理で儲けるとはどん欲な！」  
[4][grí:di グリーディ]  
説 保険会社に就職すると、まずは親類縁者に売り込んで、次に友人に買わせて、売り込む相手がいなくなったところで首になるそうです。まさに、義理で儲けるわけですね。

□□ 1668  
**thirsty** 「控えめに(modesty)のどのが渴いた(thirsty)と訴える」  
[2][θɔ:rsti サースティ]

□□ 1669  
**per capita** 「利益パー！キャピタル・ゲイン税で一人当たりの収入減」  
[15][pər kæpətə パー・キャパタ]  
説 株を売ったときに得た利益のことをキャピタルゲイン(capital gain)と言います。日本では株でもうけが出るとちやんとキャピタルゲイン税でもってかれるのですが、ニュージーランドにはそんなものはないそうです。極端な金持ちを嫌っての平等主義なのかもしれませんが、ちょっと極端ですね。

□□ 1670  
**inherent** 「闘犬、ヒエ〜！乱闘するのは生まれつきの性格」  
[7][ɪnhɪərənt インヒアラント]

□□ 1671  
**promising** 「プロミシングがけが一番前途有望な仕事」  
[3][prámisiŋ プラミシング]  
説 他動詞の現在分詞が形容詞化してできたのが promising。「将来を期待させる」から「前途有望な」の意味が派生した。現在分詞が形容詞化したものは、元の他動詞と意味がかけ離れていることがあるので、意識して記憶しておく必要がある。  
exhaust 使い果たす→exhausting 骨の折れる  
forgive 許す→forgiving 寛大な  
grasp つかむ→grasping 意地汚い  
invite 招待する→inviting 魅力的な  
strike 打つ→striking 印象的な

□□ 1672  
**physiological** 「不二夫(が)logical(論理的)なものには生理的な拒否反応」  
[15][fiziəlɔ:dʒɪkl フィジアラジカル]  
尾 「-logy=論じられたもの=学問」  
「physio=自然」 + 「logy=学問」 = physiology  
→生命に関わる自然現象の学問=生理学  
「psycho=心」 + 「logy=学問」 = psychology  
→心の学問=心理学  
「anthropo=人間」 + 「-logy=学問」 = anthropology  
→人間の学問=人類学  
「bio=生命」 + 「-logy=学問」 = biology  
→生命の学問=生物学  
「geo=土地」 + 「-logy=学問」 = geology  
→土地の学問=地質学  
「myth=神話」 + 「-logy」 = mythology  
→神話の学問=神話学  
「zoo=動物」 + 「-logy=学問」 = zoology  
→動物の学問=動物学

□□ 1673

**clinical** 「栗に凝る臨床治療の食事」

[7][klínikl クリニカル]

説 クリニック(clinic)は「診療所」とか「病院」の意味の名詞。その形容詞形が clinical だから、「診療所の」とか「病院の」の意味もある。病院でやることは臨床治療なので、「臨床の」とか「臨床治療の」の意味が派生した。

□□ 1674

**chronic** 「苦勞に苦勞を重ね慢性の病気に」

[9][kránik クラニク]

□□ 1675

**geological** 「地(面)を路地から調べる地質学的な研究」

[9][dʒi:ələdʒikl ジーアラジカル]

□□ 1676

**countless** 「数え(count)られない(less)くらい無数の」

[6][káuntləs カウントレス]

尾 「-less=無」

「count=数」+「-less=無」= countless

数えられない=無数の

「regard=関心」+「-less=無」= regardless of ~

→~に関心がない=~を無視して・~にもかかわらず

「help=助力」+「-less=無」= helpless

→助けがない=無力な・寄る辺ない

「price=値段」+「-less=無」= priceless

→値段がつけられない=極めて貴重な

「sense=感覚」+「-less=無」= senseless

→意義が感じられない=意味のない

→感覚がない=意識を失った

「rest=安心」+「-less=無」= restless

→安心できない=不安な・落ち着かない

## 副詞

□□ 1677

**simultaneously** → **simultaneous** 「志村(けん)手にアサリ、同時に加藤茶手にアヤナ」

[6][saiməltéiniəsli サイマルテイニヤス]

説 加藤茶が45歳年下のキャバ嬢と結婚した。25歳の若者の食生活と70歳の老人のそれは全くかみ合わず、高カロリー-高タンパクの食事を続ける加藤茶の命はそんなに長くはないだろうね。

□□ 1678

**utterly** 「当たり！完全に予想外！」

[5][átərli アタリー]

**utter** 「ここにあった！と声を上げる」

[5][átər アッター]

□□ 1679

**upright** 「アップライト・ピアノは直立したピアノ」

[4][Apráit アプライト]

□□ 1680

**overnight** 「一夜(night)を越える(over)と一晚」

[3][óuvernáit オウバアナイト]

□□ 1681

**thereby** 「税が倍！そうすることで国民困窮」

[9][ðeərbái ゼアバイ]

□□ 1682

**via** 「倍はかかるクアラルンプール経由でバリ」

[4][váiə バイア]

□□ 1683

**namely** 「永遠の眠り、すなわち死」

[4][néimli ネイムリ]

説 name には「名前を付ける」の意味の他動詞がある。そこから「別の言い方で言う」→「言い換えると」→「すなわち」と派生した。

□□ 1684

**frankly** 「フランク、理恵に対し率直に愛の告白」

[4][fræŋkli フランクリ]

□□ 1685

**hence** 「それは変っす！だから止めて！」

[6][héns ヘンス]